

授業科目	教養演習		担当者	島田 美城			
授業科目の種類	必修	開講学期	前期	単位数	2.0単位	配当学年 (注1)	1
定員	なし	定員の実施 方法(注2)	なし				

授業の目的・内容

よりよい音楽表現のために幅広い教養は不可欠である。キリスト教精神を土台とする本大学で、音楽を専攻する大学生として、「私はよりよく生きる」ことを通奏低音とし、教養の基礎となる「考える力、書く力、発表する力」を五線譜とし、その上に「平和」というテーマをメロディーとして展開する中で教養力を身につけてゆくことをねらいとする。教員による基調講義や学生自身の問題提起をもとに、調査、報告・発表、討議を通し「考える力、書く力、発表する力」を深める。まず、大学のことを知り、創立物語から音楽と自分を見つめ、エリザベト音大生としての自覚を持ってもらいたい。その上で、家庭・家族・地域という身近な社会の課題、広島の持つ意味、地球規模的な環境問題や国際化社会と人権・社会正義など、「平和」に関わるさまざまな課題に取り組んでいく。また、これから4年間の大学での生活を有意義なものにできるよう、大学での過ごし方、レポートの書き方、学修の進め方などのスタディスキルズ・トレーニングも含んでいる。本授業は、小グループでテーマに取り組んでいくが、一人ひとりの積極的で主体的なかかわりとチーム・ワークが求められる。

到達目標

1. 小グループ演習による教養力(考える力、書く力、発表する力)の基礎習得
2. 種々の次元における平和についての基本的理解

評価方法

授業への参加度 50 %
レポート・課題提出 50%

テキスト・参考書

プリント配布
テキスト「スタディスキルズ・トレーニング」実教出版

授業計画(注3)

- ①オリエンテーション／大学生生活を充実したものにするために
- ②エリザベト音楽大学についてもっと知ろう。大学創立者ゴージェン神父とは
- ③レポートの発表 パブリックスピーチの練習
- ④大学生生活のためのスキル その1
- ⑤大学生生活のためのスキル その2
- ⑥平和を考えるⅠ 平和学の基礎と私自身の平和
- ⑦レポートの発表
- ⑧平和を考えるⅡ 平和な社会のための私の立ち位置と役割
- ⑨レポートの発表 スキル その3
- ⑩平和を考えるⅢ 地球、世界の平和と私たち
- ⑪各グループのテーマに従ったプレゼンのためのグループワーク スキル その4
- ⑫プレゼンテーション:「私たちは平和にどのように貢献できるか」

準備学習(予習・復習等)(注4)

講義内で話された様々なテーマや資料から通算4つの提出物とその他の課題が提示されるが、それらについてよく調べ、考え、準備し、発表し、期限内に提出しなければならない。

別途負担費用

JR西条駅までの往復交通費。(西条駅から西条キャンパスまではスクールバスを利用)
テキスト代 約1000円